

授業に応用できる「木彫」講座

平成19年11月21日(水)～11月22日(木)

ねらい 「ふだん学べない分野を専門家に教えていただきましょう！！」
目的 美術教育に関する専門的な知識や技術について研修を行い、その識見と指導力を高める。

講師

明星大学造形芸術学部 准教授 ^{しおのまり}塩野麻理先生

題材 「手の表情」を彫る

内容 実物大程度の「手」を制作しました。木彫の手順を追って作品制作しながら、素材(木材)や道具に対する理解を深め、授業への応用を考えてみました。

制作過程 ①

1. デッサン(構想を練る)

2. デッサンから三面図をおこし、型紙をつくる

※講座では省略しました

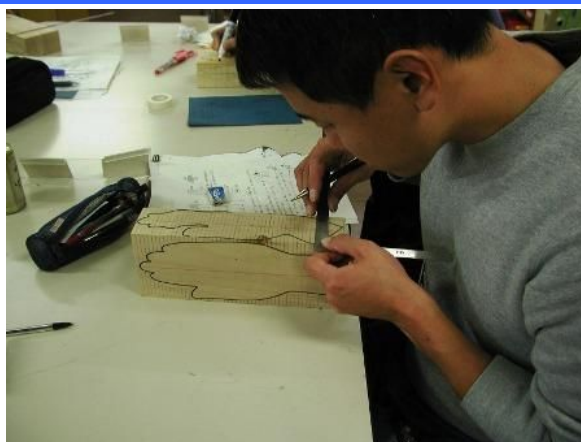
3. 材に中心線を引き、型紙を利用して三面図を材に写す

4. 木取り

のこぎりを使用しておおまかなかたち(前面、側面)を木取りする

5. 荒彫り

ノミを使用して奥行の面をとらえ、荒彫りしていく



講義内容

1 木彫技法の紹介

○ 仏像の制作技法

・鑄造 ・塑造 ・乾漆(脱活、木心) ・木彫

○ 日本の仏像彫刻における木彫技法と使用された道具

・鉄心 ・銅釘 ・型持 ・なかご ・蠟
・心木 ・銅線 ・麻縄 ・荒土 ・中土
・仕上土 ・漆 ・木屎漆
・内割り ・割り矧ぎ

○ 関連する塗料や、仏像彫刻に使用された木材以外の素材など

2 木材の種類について

○ 木の構造

・木口 ・板目 ・柾目 ・樹皮 ・形成層
・早材 ・晩材 ・辺材 ・心材 ・移行材
・木の生育と、材の特徴

○ 木材の種類

・板目 ・柾目 ・四方柾

○ 木材の特徴について

・収縮と干割れ
・材木の選び方 ・保管の仕方

3 使用する道具について

○ 鋸(のこぎり)

・縦挽 ・横挽 ・胴付 ・畔挽 ・回挽 ・糸鋸

○ 鑿(のみ)

・鋼 ・地金 ・甲表 ・裏刃 ・切刃 ・柄 ・冠(かつら)
・冠のつけ直し方

○ 彫刻刀(種類と規格)

・小刀 ・間透き ・丸刀(形状の呼称)

○ 刃物の研ぎ方



制作過程 ②

6. 中彫り

ノミ・彫刻刀を使用してかたちの特徴を出していく

7. 仕上げ彫り

彫刻刀を使用してさらにかたちの印象や細部を彫出していく

8. 完成／完成のための道具の使い方について

…… 100%完成までは至りませんでした。

9. 観賞

10. 授業に応用できる「木彫」講座 考察とまとめ



木彫を2日間だけでマスターするのは極めて困難でしたが、参加者にとっては、木彫再発見となる充実した研修でした。詳しくは研修者の感想記録をお読みください。

[研修者感想へジャンプ](#)

[\[ここをクリック\]](#)

[ページ先頭に戻る](#)

授業に応用できる「木彫」講座

研修者感想記録

講義の感想

のみを使って作品を作ることは初めてで、おっかなびっくり進めていました。

完成にはほど遠く、荒彫りの段階で終了でちょっと残念でした。家で続きをやりたいと思います。

講師の先生には細かいところまで教えていただき、道具の使い方や保存の仕方まで参考になりました。

教材に使っていきそうな気がします。木彫はレリーフ・ペーパーナイフぐらいしかやったことがありませんでした。丸彫りにも挑戦したいと思います。

大変詳しい内容で、とても勉強になりました。

お話が大変わかりやすく、とてもためになりました。

本格的に木彫を勉強したことがなく、授業で取り上げることもあまりありませんでした。今回の講義では、大学で少しだけ勉強したことを思い出しました。木彫の方法や種類を知ることにより、新たな興味が出てきました。例外で技術も教えていますが、のこぎりやのみの取扱いなどについても、新たな知識を得ることができ、今後の授業に生かしていきたいと思いました。

実技の感想

大満足です！！

自分でもやってみようと思います。

夢中で制作をしていてあっという間でした。道具の使い方も学べて、とてもためになりました。

木彫の技術を身につけるところまではまだまだと感じましたが、基本的な方法などを知ることができ、今までより苦手意識が少なくなったと思います。

先生方の様々な作品を見て、彫刻の面白さが感じられました。今後、技術を向上させ、授業でしっかり教えられるようにしたいと思います。



講義感想

たくさんの方がわかりました。

材質の違い、のみやのこぎり、彫刻刀の違い。のみの種類、本物の面(治道)の迫力等、本で調べてもなかなか理解できなかったことがわかりやすく、ゆっくり丁寧に話され、とても楽しく講座を聴くことができました。ありがとうございました。

仏像の制作技法について詳しく教えていただいて大変勉強になりました。鑑賞の授業に生かしていきたいと思います。

木について種類や性質など、初めて知ることがたくさんありました。ふだん、カタログを見て安易に選んでいたのが、今回実際にイチヨウの木を使ったことで、木目について等、体験的に理解できました。(広葉樹と針葉樹など)

のみ、彫刻刀について、自分自身がとても不得手なので、きちんと勉強したこともなかったのですが、今回の講義で、先生の言葉の端々からとても奥深いものを感じることができました。



実技感想

空間と指のつながりが難しく、よくわかりませんでした。根本的な量のとらえ方が自分は駄目なんだなぁと思いました。もっと実技の時間が多いと良かったです。

初めて木彫を体験しました。「面倒」という思いが強くてこれまで自分自身も、授業でやろうという前向きな気持ちになれませんでした。実際やってみて、粘土によるモデリングとは違う難しさと面白さを感じることができました。大変出来の悪い生徒で、なかなか思うように進まなかったのですが、2日目の午後、何とか形になってきたときはとてもうれしかったです。

久しぶりに生徒の立場になって、それもとても出来の悪い生徒で、とても快い緊張感を味わうことができました。

適確なアドバイス、ありがとうございました。先生の説明や指導の仕方からも学ぶことがたくさんありました。



講義感想

学校において様々な彫塑に応用できる内容でありました。

やはり、私のような免外教員にとっては実際にやらせてもらうことが一番であると思います。ありがとうございました。

材料や道具について知らないままにしていたことが、いろいろわかって大変勉強になりました。仏像の構造についても知ることができてよかったです。日本の文化、歴史の中に木というものがあって、木を素材としていろいろなものを作ることは自然なことだったというお話を聞いて、何だか、木彫って素敵だなあと思いました。

先生の豊富な知識の上に立った、丁寧な御指導、お話に感謝します。制作のためにはいろいろなことを知らなければならないと感じました。ありがとうございました。

一般的な内容を押さえていただいて非常にためになりました。

お話に品があり、忘れていたものに気付かされました。



実技感想

思ったより随分と難しかったというのが正直なところです。全体をつかむことがまず大切なこと、彫る手順なども、作品を制作していく上で、効率よく進める上で大事であることなど、大変勉強になりました。

技術を得るには時間が足りないと思いました。ただ、とても楽しく集中して実技に取り組むことができたので、自分にとっては大変ためになる研修だったと思います。

考えてみたら理由もなく木彫をやらないで来たので、今後は是非、自分でも作品を作りたいです。ありがとうございました。

道具と作業の指示が適切なタイミングでわかりやすかった。

彫刻の素描についても考えさせられました。万力によって上下が逆転すると、私の頭では理解が出来ないのが興味深い。



講義感想

とても分かりやすく、丁寧に指導してもらいました。理解することができました。質問もしやすく、雰囲気も明るく楽しい内容でした。

道具の扱い、名称など、指導にすぐ使える内容であった。プリントに細かく記してあったので内容が理解出来たのはよかったと思う。

のみの使い方を理解でき、とても良かった。木の構造はこれから木を買うときの見方がわかり良かった。

木の知識や木彫道具の使い方、仏像の制作などについて、とても参考になった。

木の特徴、道具の使い方など、非常に分かりやすく学びやすかった。専門分野が広がったような気がした。



実技感想

道具をフルに使い、自分にできる表現を精一杯行うことができました。木材を生かした彫刻が制作出来たと思います。

粘土彫塑とは違い、失敗してもやり直しが出来ないので一つ一つが真剣勝負だった。

ふだんの教員生活は忙しく、なかなか作品を作る時間が持てないが、2日間、集中して一つの作品に取り組めたことはすごく良かった。

機会があればまた取り組みたいと思う。

自分なりに作品にでき、次につながるのも良かった。

塩野先生に詳しく指導していただき、初めての木彫であったが、とても楽しく取り組むことができました。ありがとうございました。

今後の授業実践に生かしていきたいと思えます。

初めて木彫をやりました。とても楽しかったので、この楽しさを生徒に伝えたいと感じました。教師が楽しくないものを生徒に楽しさを伝えられないと思います。知識、技術、共に学ぶことができました。

